

12月定例会 一般質問通告 一覧表

1	農産物直売所(道の駅)整備事業について	清和会代表 山田 忠
1	協働のまちづくりが抱える課題について	入江 和隆
2 1	マイナンバー制度について スポーツの推進について	城山 雅朗
2 1	企業誘致について 市営住宅の建て替えについて	古賀 敏彦
2 1	職員の教育について 健康づくりについて	佐藤 尚武
1	のぞみがおか生楽館の移設について	後藤 理恵
2 1	非核恒久平和都市宣言の取り組みについて 学力向上施策のあり方について	新原 善信
2 1	まちの保健室設置について 自立支援の取り組みについて	百瀬 光子
3 2 1	国民健康保険について 介護保険について 入札制度について	竹腰 昭
3 2 1	小郡駅前広場について 高齢者サービスについて 地域連携による観光事業について	田代 和誠

代表質問

農産物直売所(道の駅)整備事業について



山田 忠議員  
(清和会)

清和会では、農産物直売所(道の駅)を新たに整備し、農業の振興、地域の活性化を図っていくことを重要な政策検討課題と位置付け、設置に向けて調査・研究を行ってきました。市としても第5次総合振興計画の後期計画の中で、設置に向け協議を行っていくとしていますが、①既存の直売所や新たな直売所に関しての方向性について。②新設にあたっての組織体制について。③今後のスケジュールについてお尋ねします。

市長―①小郡市食料・農業・農村基本計画において、地域振興の拠点となる魅力的な農産物直売所の設置に向け、関係する団体・機関と協議を行っていくとして、施策の方向性を定めています。今後、直売所の充実に向けて検討を図りながら、農業の振興ひいて

個人質問

解決すべき新しいまちづくりの課題について



入江和隆議員  
(清和会)

は地域振興を図っていきます。環境経済部長―②既存の直売所である「宝満の市」と「めぐみの里」の今後のあり方も含めて、そしてまた新たに設置するならば、どういった組織体制を築いていくか検討していきます。③既存の直売所、そして新たな直売所についての現状、課題の整理を行い、「明日の小郡の農業を考えると」に提案していきます。そこでの意見を基に小郡市食料・農業・農村政策審議会で議論していきます。

①133あった区長行政事務委嘱を大幅に減らし16にするとのことですが、見直しの経緯と実施時期について。②民生児童委員の仕事を支援する福祉委員制度の導入や、子育てから高齢者までの課題に対して身近に信頼できる相談窓口の設置が必要ではないですか。③まちづくり協議会への権限移譲の根拠はどのような条例に定めますか。また行政区制度との矛盾点解消について。④小学校区がまちづくりの基盤となりますが、駅前区は小、中学校校区が分断されています。この問題について早急に、きちんと整理をすべきではないですか。

市長―①平成25、26年度に委嘱事務を見直し、最低限の委嘱事務として16項目を選定し平成29年4月から施行予定で



▲「宝満の市」と「めぐみの里」

す。②地域の皆さんが気軽に福祉活動へ参加できる工夫や共助の体制づくりが必要で、相談窓口については包括的な支援体制構築とあわせて検討していきます。③平成28年度末までに協働のまちづくり推進条例等を整備し組織の位置づけや権限等を明確にしていきます。区長業務を行政区内の事務に戻し校区事業に対する二重性や矛盾を解消していく必要があります。④小学校区と行政区との整合性がとれていない点はどのような対応が可能かさらに検討を進めていきます。

### 不便の解消 不安の払拭を!!



城山雅朗議員  
(清和会)

市民から、特に高齢者や身体的弱者の方々から不便や不安の声が届いています。①高齢化が進み膝や腰に痛みを抱える方が増えている中、スポーツ施設の女子トイレを例にあげますと、陸上競技場には6か所のトイレがあります。洋式便器は3つ、野球場

は6か所のトイレの内、洋式便器は1つとなっています。また4か所の運動広場で洋式便器があるのは、たなばた運動広場だけとなっています。これでは各種スポーツやイベントの参加、またリハビリや健康づくりのための利用が難しい状況にあります。早急に洋式トイレを増設するべきではありませんか。②マイナンバー制度に対する不安の払拭や詐欺などの防止のために、希望される老人クラブなどに直接説明に向くべきではありませんか。

**教育部長**―①年次的に洋式化に取り組んでいます。今後その需要を調査し対応していきます。

**総務部長**―②出前講座での取り組みや民生児童委員協議会との連携を早急に検討します。



▲小郡市陸上競技場

### 企業誘致について



古賀敏彦議員  
(清和会)

干潟第2工業団地の造成が始まりましたが、①造成を完了し、企業に渡せる時期は。②企業からの問い合わせ状況は。③企業の決定方法は。④今後の工業団地の開発、特に干潟裏田西地区地権者会の残り8ヘクタールおよび筑後小郡IC周辺・久留米筑紫野線沿線の開発についてはどのような考えをお持ちですか。

**市長**―①平成28年度末を予定しています。②10社から詳細な問い合わせをいただき、その内1社については来月中旬の申し込み準備中と聞いています。③小郡市企業誘致推進委員会により決定します。④福岡県工場適地調査事業を活用した候補地調査事業を予定しています。干潟裏田西地区地権者会の残り8ヘクタールについてはこの調査事業の中で検討します。

**副市長**―④干潟裏田西地区地権者会の残り8ヘクタールについては、第一の候補地とし

て金額を提示させていただき、積極的に取り組んでいきます。



▲造成工事中の干潟第2工業団地

### 人が輝き 笑顔あふれる挨拶、 応対を推進しよう



佐藤尚武議員  
(理尚会)

耐震化工事も終わり、新装した庁舎に戻りますが、職員皆さんも市民との挨拶応対について、もう1度「原点」に戻り見直してはいかがですか。①気持ちのよい挨拶について、どう推進されていますか。②外部講師を招いての研修について。③「報・連・相」といいますが、報告、連絡がないことが多々あります。

どのように訓練されていますか。④ゆるキャラ問題等、責任と権限がはっきりしないが、「人事評価」はどのように生かされていますか。⑤近隣市が実施している「接遇対応チェック表」を作成し応対レベルアップを図ってはいかがですか。

**市長**―①挨拶は仕事を行う上での基本で、接遇及びクレーム対応研修を3年に1回は実施、2年前から嘱託職員にも拡大しています。③日頃から「報・連・相」を密に行い上司とともに組織的な対処を行うよう指導しています。④Tシャツの件では申し訳なく思っています。ピンチをチャンスに変えるように取り組んでいきます。人事評価は職員の意欲や能力を向上させ、市民サービスの向上につなげるためにあり、長所・短所を確認し、研修し人事異動の参考にしています。

**副市長**―②現場で指導されている講師による研修については検討します。⑤「接遇対応チェック表」作成については、他市の成果を見て検討します。

## のぞみがおか生楽館の移設について



後藤理恵議員  
(理尚会)

のぞみがおか生楽館は他の校区公民館と違い、平成11年にのぞみが丘小学校の中に併設された唯一の施設です。学社融合の観点では、併設の利点を生かした取り組みが来ていますが、運営の現状としては学校施設という側面を併せ持つため、学校施設開放規則による制約等があり、自由に活動が出来ないことから、約2800世帯を有するこの小学校区の社会学習活動の受け皿としての機能は他の校区公民館に比べてかなり劣っているように見受けられます。また、今後簡保レクセンター跡地に出来るあすみ地区の編入による人口の増加や、さらに昨今の協働のまちづくり事業の進展に伴い、校区のまちづくり活動の拠点施設として位置づけられている状況から、施設利用の需要がより一層高まることは言うまでもありません。住民ニーズの多様化に対応できる社会教育施設と地

域コミュニティ活動の拠点施設との2つの拠点機能が求められている中、のぞみがおか生楽館の移設についてお尋ねします。

市長―利用上の制約の他に、学校との兼用スペースを除けばクラブハウスの82㎡は、他の校区公民館の10分の1です。住民の潜在的な需要を考えると、今の形ではいけないので、地域の方々の声を聞きながら、候補地を検討し、校区内の生涯学習施設の充実を図っていきます。



▲のぞみがおか生楽館

## 非核恒久平和都市宣言を風化させてはならない



新原善信議員  
(市民クラブ)

小郡市は昭和59年12月、非核恒久平和都市宣言を出しました。その経緯及び取り組みについてお尋ねします。また、老朽化した広告塔の修復と、宣言文の玄関への掲示についてお尋ねします。

市長―本宣言は昭和59年9月の小郡市議会「非核恒久平和都市宣言に関する決議」を受け、同年12月、市の告示で宣言しています。昭和59年は戦後40年を翌年に控え、東西冷戦下で核戦争への危機感が高まるとともに、反核運動が世界的な広がりを見せた時代でした。市としては、宣言の精神を広く周知し、長年におたつて継承すべく啓発広告塔を建設しました。また、毎年広島、長崎の原爆記念日及び終戦記念日には市役所内で恒久平和を祈念し黙祷を呼びかけてきました。次に、啓発広告塔の修繕については広く市

民に周知し、啓発するための効果的な方法を改めて再検討していきたいと考えています。その際、市広報紙や啓発冊子、パンフレット類または市のホームページあるいはパネル展示などを含めたさまざまな手法の可能性について検討したいと考えています。



▲非核恒久平和都市宣言(啓発広告塔)

## まちの保健室の設置を!



百瀬光子議員  
(公明党)

近年、家族の形や地域社会の在り方が大きく変わり、地域ではさまざまな課題が生じ、身近で気軽に相談窓口の充実が求められています。そこで、

②建設予定の大原校区公民館に、地域のワンストップ相談窓口であり、地域福祉活動の拠点である「まちの保健室」の併設について③地域福祉の充実についてお尋ねします。

市長―①現在のところ各所管課や各施設等において、それぞれの課題に応じた相談窓口を随時開設し、市民の各種相談に幅広く対応できるよう努めています。②本市においても、現在子育て世代包括支援センターや地域包括ケアシステムの構築に向けた課題も出てきており、今後はこのような地域における包括的な支援体制の全体像について検討を行なっていく中から、まちの保健室の必要性やあり方についても合わせて検討を行なっていくと考えています。③地域福祉に関する課題は福祉施策全般にわたる総合的な課題も多く、現時点では保健福祉部内における検討会議の設置や個別課題ごとのプロジェクトチームの編成等により、組織横断的な対応を行なうよう努めています。

地域が支える介護保険  
事業と今後の計画につ  
いて



竹腰 昭議員  
(共産党)

①小郡市の訪問サービスの特徴をお聞きます。②小郡市では持ち家率の高い高齢者が住みなれた自宅を離れ、サービス付高齢者住宅や有料老人ホームに入居し、新たに亡くなるまで高い家賃、管理費を払い続けることは、絶対無視できません。市は、独居でも、老老介護でも利用者の希望がある限り在宅で介護生活が継続できるように、地域の支援や医療機関との連携を促し、在宅介護経験者の知恵もお借りして介護者を支えサービス制度を開拓し、「ちよつとだけボランティア」などを市民へお願いし、幅広く支援して下さい。また独居老人、認知症高齢者の見守り、在宅介護が充分に出来るよう、更に市民の力を得て、計画を進めて下さい。

市長―①小郡市の訪問サービスは、ホームヘルパーに自宅

を訪問して貰い、自宅で能力に応じ自立した生活を営めるよう、入浴、排せつ等の介助や調理、洗濯、掃除等の支援を受けることができます。高齢者が居宅において自立した日常生活を送るために、今後必要な支援を行っていきま

す。  
保健福祉部長―②「ちよつとだけボランティア」に関して、介護者サロン「トワエモア」が介護家族の集いを、何年も続けていますし、市内のデイサービスの方が休館日を利用して介護者用のサロン事業を行って



小郡駅前広場の  
活用について



田代和誠議員

現在、小郡駅前広場の「きらめきの塔」を中心にイルミネーションが施されています。これは、商工会青年部が商業活性支援を活用した事業です。補助で補えない分は、Tシャツを作り販売して資金を捻出しました。駅前を華やかにしたいと情熱を持って取り組み続けた結果が今の小郡駅前の明るさにつながっていると思います。以前の「きらめきの塔」は上部の電飾はきらきら輝き、噴水もあり、音楽も流れていました。しかし、今は電飾も消え、噴水や音楽の設備も壊れています。せっかくイルミネーションで輝いているのに元となる設備が全く整っていません。イルミネーションは3カ年の事業です。本来にこのままでいいのでしょうか。七夕の里として観光を進めていく上で、重要な拠点として位置づけている「きらめきの塔」、ホームページでも昼と夜を比較してPRを

しっかりとされています。今後どのようにされるのかお尋ねします。

市長―発光ダイオードによる電飾、音響、噴水を当時と同じように復旧することは考えていませんが、親しまれるシンボルとして活用していきたいと考えており、噴水池を花壇として整備し、電飾だけでも市として復旧できないか検討していきます。



▲イルミネーションが施された小郡駅前広場

小郡市議会会議録が  
ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。

なお、平成27年12月の市議会会議録は、平成28年2月下旬頃よりご覧いただける予定です。

小郡市議会  
本会議・常任委員会の  
インターネット中継が  
ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、本会議（平成22年9月以降）及び常任委員会の生中継・録画中継がご覧いただけます。

※システムの関係上、常任委員会の録画中継につきましては、暫くの間、開催日から30日間の閲覧となります。大変ご迷惑をおかけいたします。